しおさいかわら版

発行所
小名浜まちづくり市民会議
TEL：52-1275
FAX：52-1415
発行日
平成29年1月20日

初夢

会長　佐藤　毅

２０２２(平成34年)年１月《5年後》小名浜駅に着いた客車から降りたつ大きな人の流れが、小名浜スタジアムに意気揚々と向かっている。今日は、いわきＦＣが創部して初めて迎えるサッカー天皇杯の決勝戦。この大事な一戦をパブリックビューイングで応援するために集まってきている観客がその人の流れを創り出しているのだ。２０１５年に描いた優勝の予定より早いけど、今年はＪ１リーグでも優勝するぞ。

港へ目をむけると、昨年から就航し始めたクルーズ船の雄姿を3号ふ頭に見ることが出来る。今日もまた多くの海外からの観光客がアクアマリンパークを賑わせるだろう。

早速、船を降りてきた観光客がタックスフリー（免税店）を掲げた店へ買い物に向かっている。観光したい人々は、思い思いにバスに分乗しそれぞれお目当ての観光地へと向かっている。

３年前にオープンしたイオンモール小名浜は、相も変わらず初売りで人がごった返している。近くに出来たスタジアムとの相乗効果もあり、毎年売り上げを伸ばしているそうだ。きっと、完売した今年入居がはじまるマンション2棟もその売り上げに貢献しそうだ。

今日の汐風竹町通りは、普段より若い人の行き来が多い。きっとリスポの駐車場跡地に昨年オープンした新しいシアター（市民会館）でコンサートが開催されるからだろう。この通りにも少しずつ出来始めたお洒落なお店も、若い男女たちの気を引いているようだ。

小名浜のまちづくりに携わる私たちが長年待ち望んでいた海から街へ、街から海へとの人の波の対流が始まりだした。新しい年が始まったばかりだが、今年のこの街はどんな新しい顔を見せてくれるだろう。楽しみだ。

これが、私たちが描く5年後の小名浜の未来予想図〝夢〟です。客車が通り、サッカーのスタジアムが整備され、クルーズ船が寄港し、新しい市民会館がリスポの駐車場にオープン。マンションが整備され、定住人口が増加。いわきＦＣもＪ１参戦。何かわくわくしてきませんか。

今から50年前、魚市場が活況を呈し、本町通りが人で埋め尽くされていた時代の賑わいと活気あふれる街にしたいという思いで小名浜まちづくり市民会議は活動を続けています。それにはまず〝夢〟を描かないと進みません。そんな思いを持ち、今年も活動して参ります。ご声援、ご入会を含めたお力添えをよろしくお願いします。

「小名浜マリンブリッジ」に決定!!

現在、小名浜港に整備中の東港地区と小名浜3号ふ頭を結ぶ橋の名前が、「小名浜マリンブリッジ」に決定しました。県内在住、在勤、在学している人を対象に昨年9月末まで公募を行い、約290件の応募の中から2度の名称選定委員会を経て、昨年12月2日に発表されました。

小名浜マリンブリッジは、経済性とデザイン性に優れた「ＰＣエクストラドーズド橋」と言われる構造形式を採用。小名浜港の景観に調和した新たなランドマークとして今年3月の完成を目指し、工事が進められています。

写真提供：国土交通省 東北地方整備局 小名浜港湾事務所

酒場放浪記吉田類来たる

12月9日に小名浜さんかく倉庫潮目交流館にて、小名浜まちづくり市民会議主催による酒場放浪記でおなじみの吉田類氏の講演会が開催されました。

講演会では、吉田氏が山登りに没頭していた時代の話、世界中の希少な蝶の写真、中でも世界最小の蝶の撮影に成功した話、釣りに夢中になり、最終的にはやまめ釣りを始め、見事に釣り上げた話を動画やスライド写真を交えて紹介して頂きました。

その後、参加者を交え福島県産の食材を使ったディナーを楽しみながら、各テーブルでの写真撮影会を開催、参加者は貴重な時間を、吉田類氏と会話しながら楽しんでいました。また、吉田氏はおたる水族館に行って以来、水族館に興味をもっており、今回の講演翌日には、国土交通省小名浜港湾事務所所長の案内でアクアマリンふくしまと小名浜マリンブリッジも視察し、安部義孝館長と対談し、活発な意見交換をしたようです。

▲吉田類氏（右）と今井シェフ（左）

—小名浜まちづくり市民会議会員の皆様へ—

１月全体会議のテーマは「クルーズ客船誘致」

１月23日午後６時30分より、まちづくりステーション小名浜３階において、１月全体会議を開催します。今回は東北経済連合会常務理事の小野晋氏から「東北へのクルーズ船誘致の現状」、また、JTBグローバルマーケティング＆トラベル営業推進部長の大熊義孝氏からは「クルーズ客船誘致に向けた取組み（案）」について講演いただく予定です。東港の橋梁整備に伴い、大型客船などがアクアマリンパークに入港できなくなるため、大型船舶の入出港、また係留可能な新たな航路や岸壁が現在検討されており、今後の観光事業等での賑わいづくりの参考になると思いますので会員の皆様は是非ご参加ください。

しおかぜプロジェクト発進!! Vol.4

いよいよアニメプロジェクトを本年春、公開します。美しい小名浜の海は震災の影響で、時空が変化し、異界とつながる巨大なワームホールができてしまいました。時空がゆがみ、大量の時空海獣が小名浜を襲おうとしている中、小名浜港の防波堤となって港を守る使命を託された駆逐艦汐風・澤風が眠りから目覚め、弟の汐風は思念体から人力戦艦!?となり戦います。しかし、姉の澤風は思念体から戦艦に変身できずに苦しんでいました。澤風のタービンは三崎公園に眠っているために動けずにいたのです。澤風の心臓として託されたのが主人公星心平くん。正義感が強く、競輪選手を目指す地元の高校生が澤風と出会い、自らの運命を変えていきます。「お願い！私と合体して！」と澤風から懇願される星心平くんは、わけもわからず力を貸すことになります。「タービングホーム！」見事合体し、人力戦艦!?澤風となった二人ですが、動かした方がわからない星心平くんに澤風が言い放った言葉は…「漕いで！船も自転車も漕がなきゃ進みません♪」まさかの人力!?

今年春、公開です！乞うご期待！

第3回小名浜ハッピーデート開催！

将来の伴侶との出会いを求める方、ぜひご参加下さい♡

開催日　2017年2月19日（日）
開催時間　15：30～19：30（集合15：00）
会　場　カルチェド　シャン・ブリアン
参加資格　真剣に出会いを求める方（未成年者不可、男性は有職者限定）
参加費　男性4000円、女性3000円
定　員　男性30名、女性30名
募集締切日　2月8日（水）※定員になり次第締切

お問い合わせ　主催：小名浜地区商店連合（まちづくりステーション小名浜1F）
電話 0246-53-5175

小名浜学事始め

「小野晋平の銅像」

小名浜海員会館（栄町）は、震災後に取り壊されて現在更地になっていますが、隣接する海側の一角に「小名浜の港づくり」の起点が残っています。そこには築港の父・小野晋平氏（1885～1943）の頌徳碑と銅像があります。頌徳碑は晋平の7回忌の昭和24年（1949）に「町民有志一同」により建碑されました。

▲小野晋平氏の銅像

銅像は昭和35年（1960）に胸像建設委員会により、磐城市・日本水素・磐城炭砿・臨港鉄道・海陸運送・鮫川堰改良区・磐城通運・呉羽化学・小名浜漁組・小名浜底曳漁組・江名漁組・江名底曳漁組・中之作漁組・三洋海運の賛助を得て、桜井祐一（日本芸術院同人）が製作しました。

めかりの囁き

本年64回目の開催を迎えるいわき花火大会は、大きく3つのイベントで構成されています。その1つが「いわき花火大会」です。このイベントの企画、運営を担うのが「花火委員会」です。

花火師さんとの連携の中、音楽との調和で幻想的な花火の祭典を創り上げます。毎年、その年のメッセージを選曲で表現し、そのイメージを花火という手法を使って皆さんに見える形でお届けしています。

選曲から花火の表現まで、委員会内での役割分担の中で具現化するのですが、思いだけでは表現しきれないところを花火師さんとの意見調整や全体予算との経済的な調整の中で進めていくため、毎週に近い会議を重ねても数か月という時間を要し、年間を通して準備を進める委員会です。

大会直前では、花火玉や発射筒の搬入、設置を前日の早朝から始め、大会終了後の撤収、発射エリアの清掃まで含めて、約3日間は寝る間を惜しんで屋外での活動をしています。そして企画の安全性を確認しながら、晴天と程よい北風を願い皆様のご来場を待つ委員会です。

（筆：F・O）

小名浜まちづくり市民会議とは…

小名浜に住む人、小名浜を心から愛する人、小名浜を輝かせたいと思っている人々が集まり、関係機関・団体と協働で小名浜のまちづくりを進めている団体です。

市民会議では随時FBに活動状況をアップしています。見つけたらぜひ、友達申請 いいね！ してね！

会員募集

小名浜まちづくり市民会議では随時、会員を募集しています。学生さんも、働くお父さんも、子育てに励むお母さんも、年齢は問いません。皆さんも一緒に素敵な未来の小名浜を創りませんか？

年　会　費　個人会員：3,000円　　企業会員：20,000円　　団体会員：12,000円

お問い合わせ・お申し込みは：　いわき市小名浜字本町11-1（まちづくりステーション小名浜）
TEL: 52－1275　FAX: 52－1415
http://www.onahama.jp/　E-mail: info@onahama.jp

この広報物は、小名浜地区行政嘱託員（区長）連合会の御協力により配布しております。